

Ⅲ 高齢者の現状及び今後の見込み

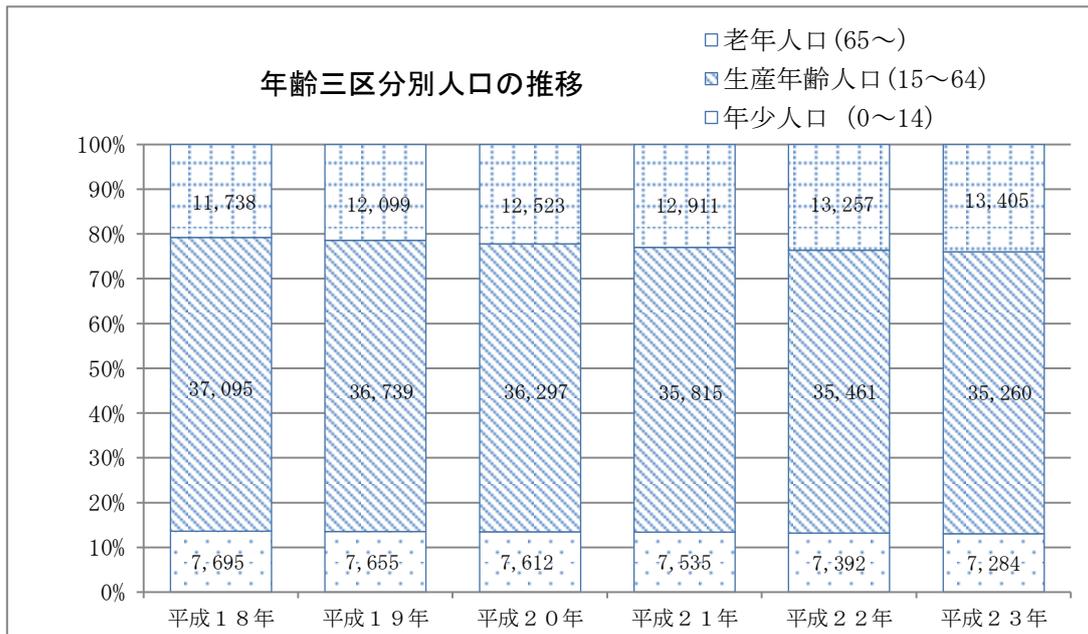
Ⅲ-1 市人口の動向

①市人口の推移

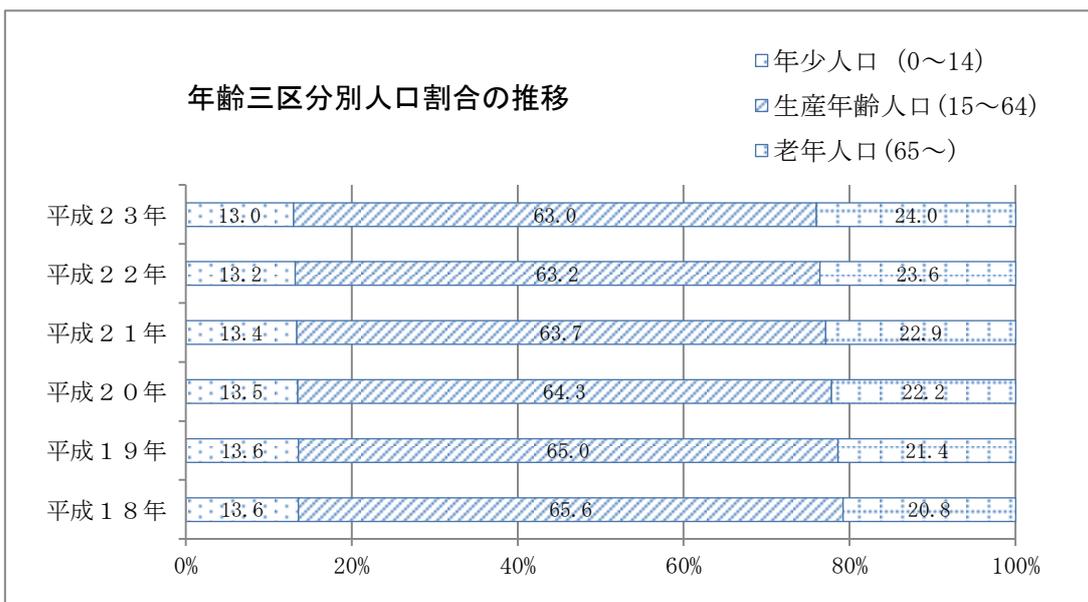
那珂市の人口は、平成17年の56,607人をピークに平成18年から減少に転じ、平成22年の人口は56,110人で、平成17年に比べ、497人減少しています。

年齢三区分別人口をみると、年少人口（0～14歳）、生産年齢人口（15～64歳）は減少傾向、老年人口（65歳以上）は増加傾向を示しています。

また、年齢三区分別人口割合をみても、同様の傾向にあります。



(住民基本台帳：各年4月1日)



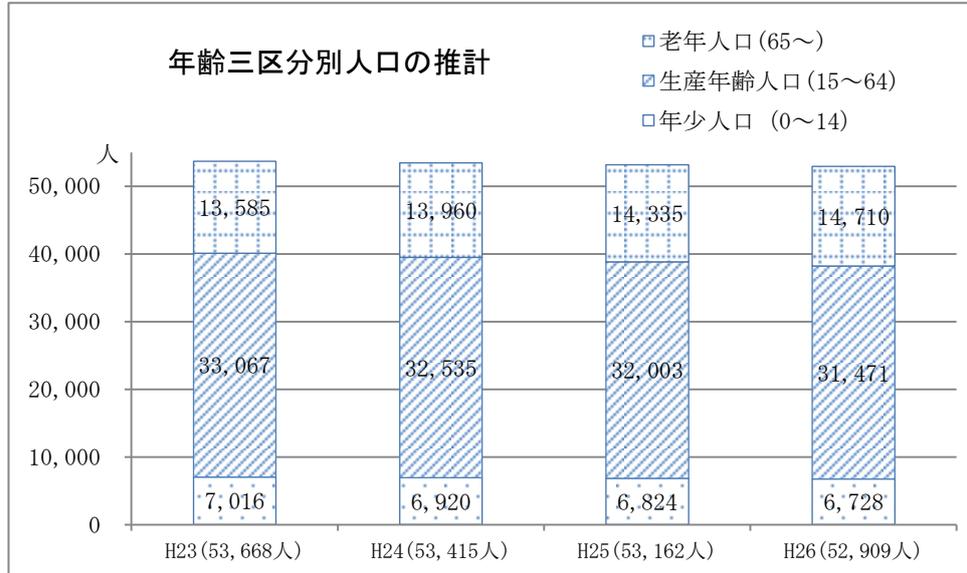
(住民基本台帳：各年4月1日)

Ⅲ 高齢者の現状及び今後の見込み

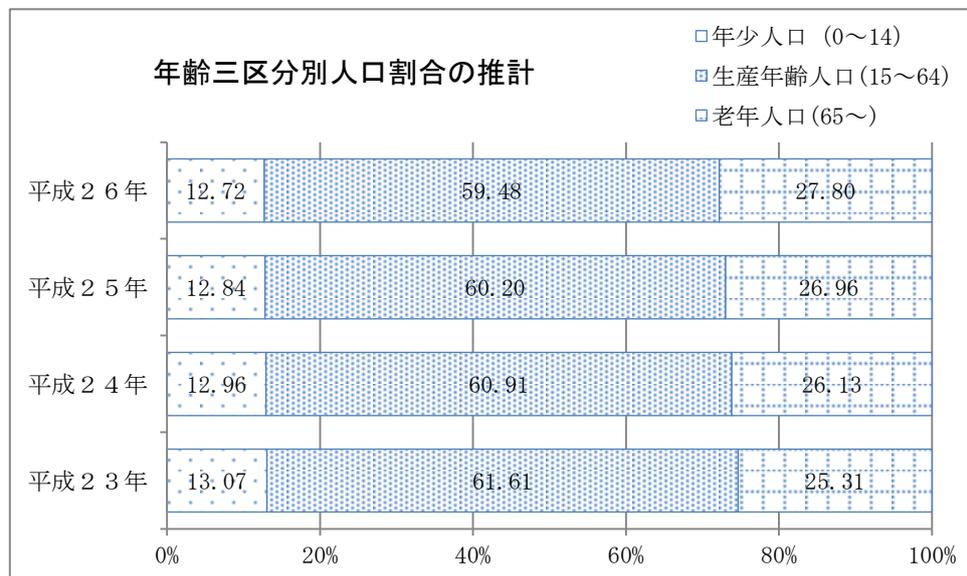
②市人口の推計

平成12年と平成17年の国勢調査結果を基準にすると、平成23年以降の那珂市の人口は、毎年減少を続けると予測されます。平成26年の市の人口は、52,909人と見込めます。

年少人口、生産年齢人口は減少し、老年人口は増加すると推計し、一層高齢化が進行することが予測されます。



(第5期介護保険ワークシート：H23.10.1)



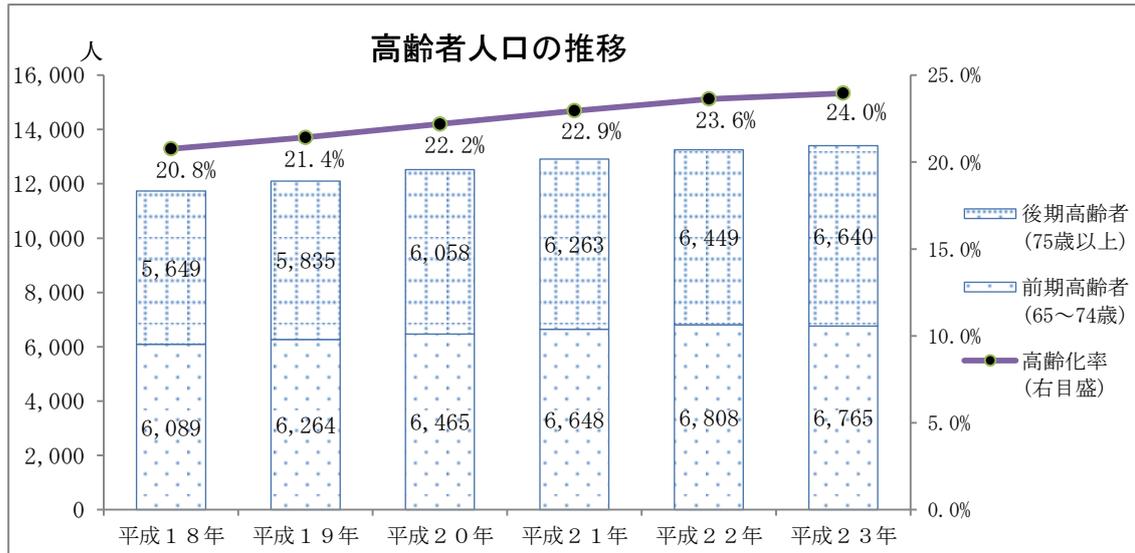
(第5期介護保険ワークシート：H23.10.1)

Ⅲ 高齢者の現状及び今後の見込み

Ⅲ-2 高齢者人口の動向等

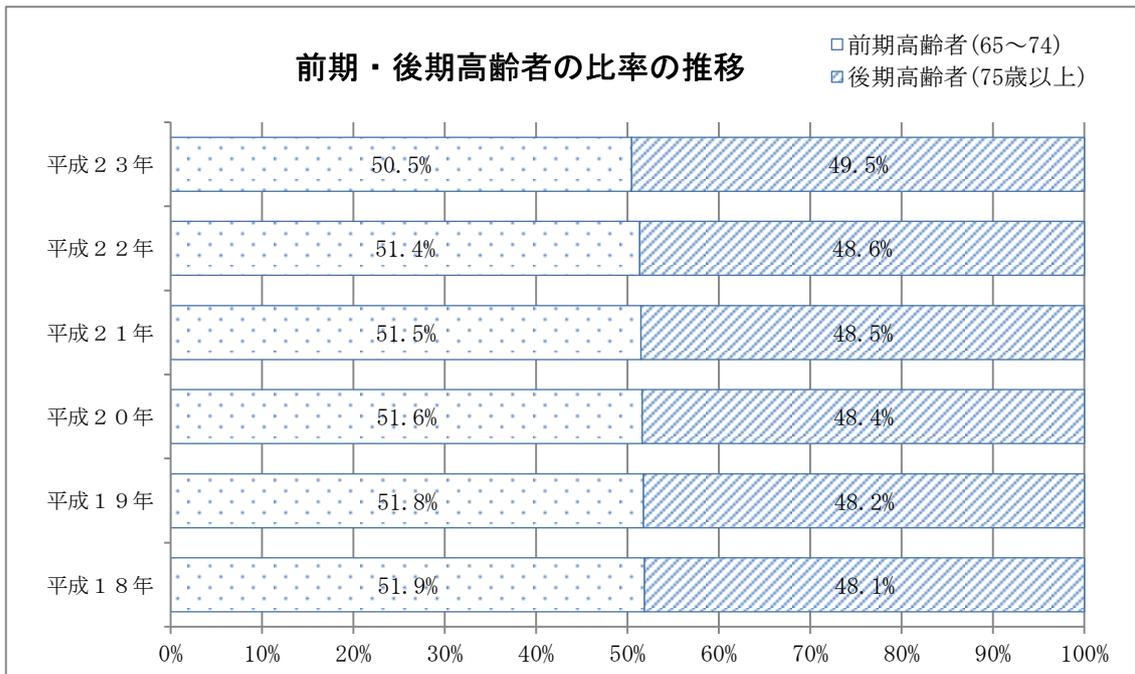
① 高齢者人口の推移

市の高齢者人口は、平成18年には11,738人でしたが、年々増加し、平成23年には13,405人となりました。この5年間で1,667人（増加率14.2%）の増加となり、65歳以上の高齢者が人口に占める割合（高齢化率）も平成23年4月1日で24.0%に上昇しています。



(住民基本台帳：各年4月1日)

前期高齢者（65～74歳）と後期高齢者（75歳以上）の比率については、わずかずつですが、ほぼ同数に近づいてきています。

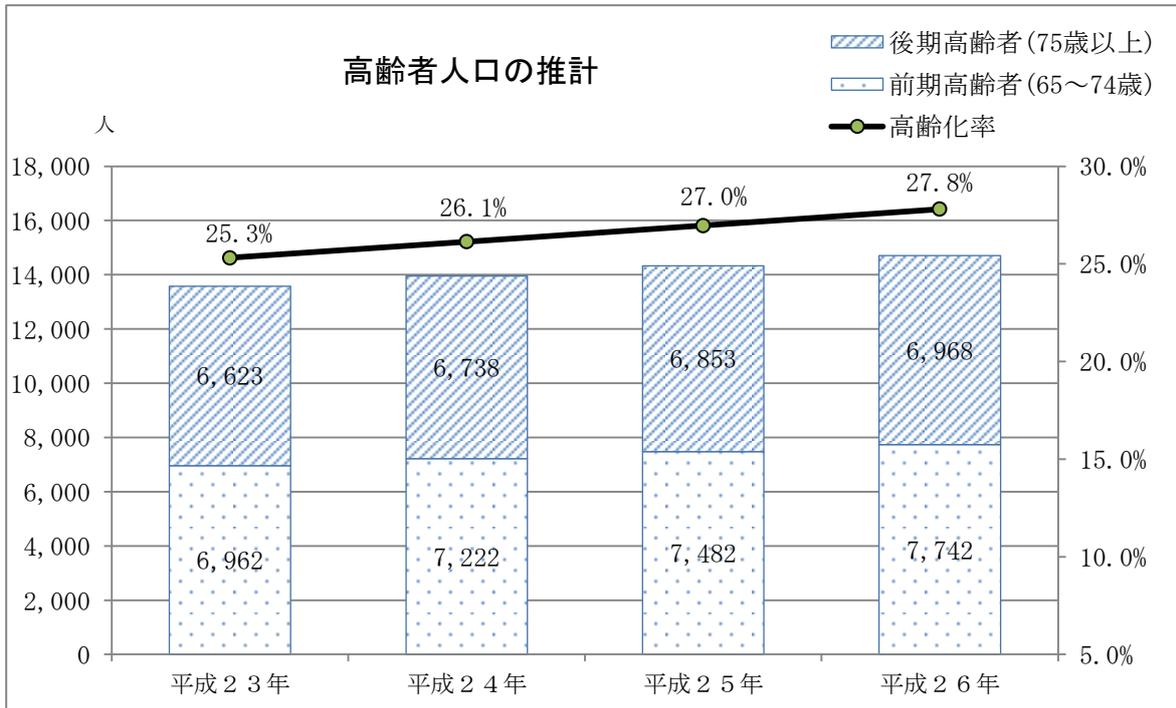


(住民基本台帳：各年4月1日)

Ⅲ 高齢者の現状及び今後の見込み

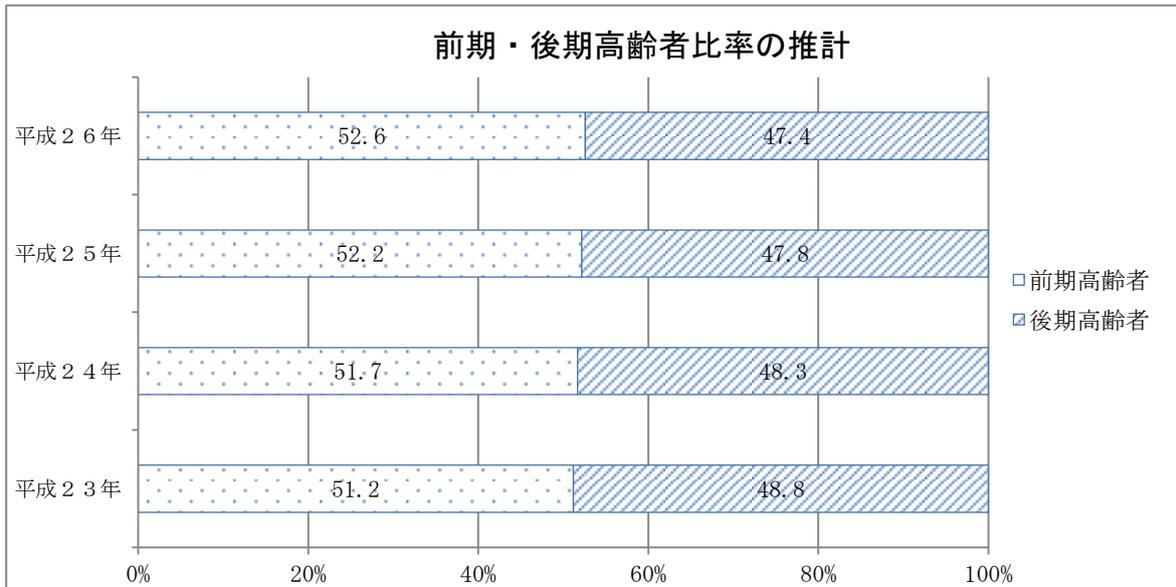
②高齢者人口の推計

平成24年以降も高齢者人口は、増加の一途をたどり、平成26年の高齢者人口は14,710人、高齢化率は27.8%になると推計します。



(第5期介護保険ワークシート：H23.10.1)

前期・後期高齢者の比率は、ほぼ同じ割合で推移しますが、団塊の世代が高齢者の仲間入りをすることから、前期高齢者の割合が微増すると推計します。

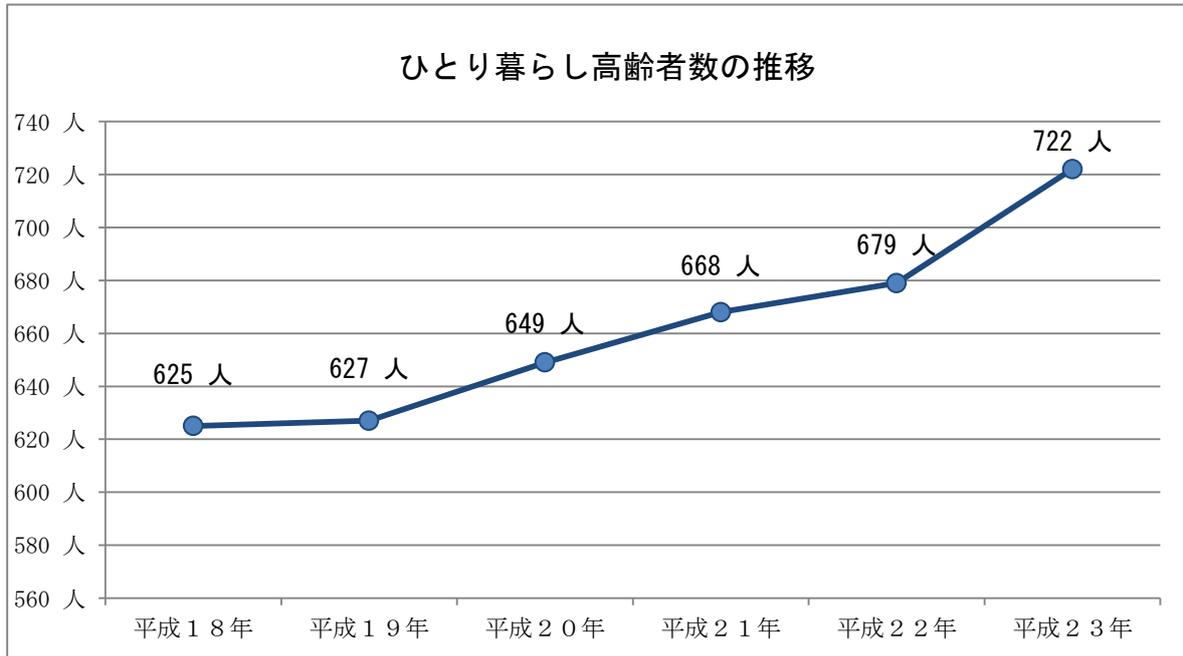


(第5期介護保険ワークシート：H23.10.1)

Ⅲ 高齢者の現状及び今後の見込み

③ひとり暮らし高齢者数の推移

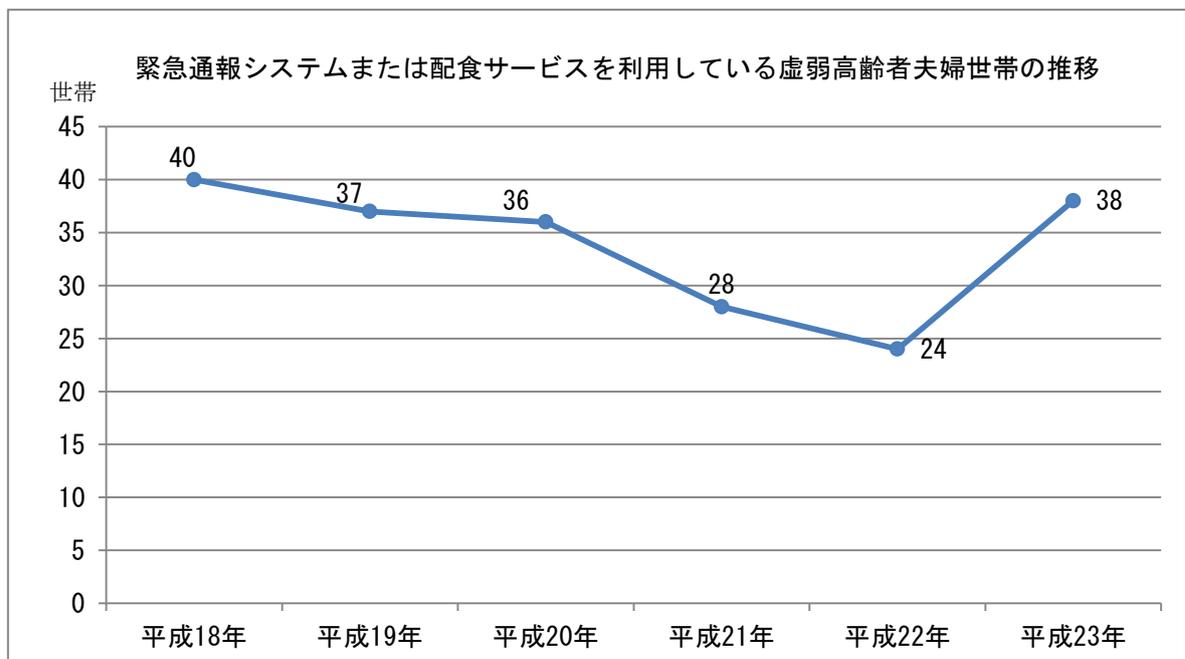
ひとり暮らし高齢者は、平成20年では649人でしたが、3年間で73人増加し、平成23年には722人となり、今後も増加すると予測します。



(市介護長寿課 高齢者台帳：各年4月1日)

④虚弱高齢者夫婦世帯数の推移

虚弱高齢者夫婦のみの世帯が利用対象となる緊急通報システムと配食サービスを利用している世帯数は、平成18年が40世帯、平成23年で38世帯あり、毎年30世帯前後で推移しています。



(市介護長寿課 高齢者台帳：各年4月1日)

Ⅲ 高齢者の現状及び今後の見込み

Ⅲ-3 保健の状況

①平均寿命と死因別死亡状況

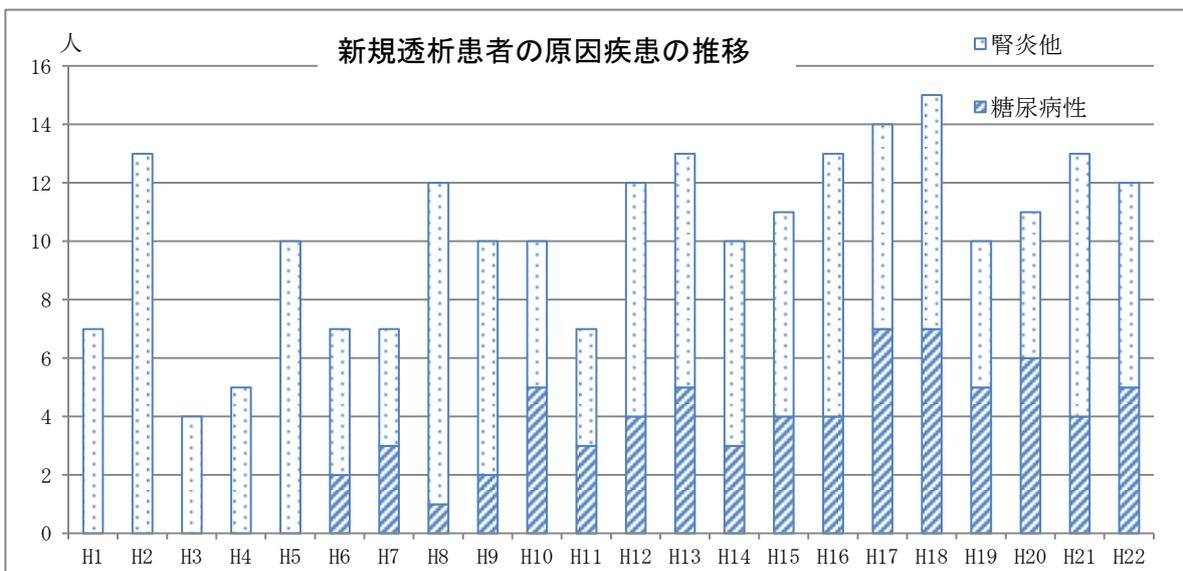
那珂市の平均寿命[※]は、男性78.0歳、女性85.1歳で男女とも全国・茨城県をやや下回っています。65歳未満の死亡率は、男性17.4%、女性10.4%と全国よりも低くなっています。死因別死亡率をみると、がん、心疾患、脳血管疾患の順に多く、全国と同じですが、死亡率は全国と比較して高くなっています。

項目		全国		茨城県		那珂市	
平均寿命 (平成21年簡易生命表)	男性	79.59歳		78.35歳		78.0歳	
	女性	86.44歳		85.26歳		85.1歳	
65歳未満の死亡率 (平成19年国民衛生の動向)	男性	22.1%		21.0%		17.4%	
	女性	11.9%		10.5%		10.4%	
死因別死亡率 (平成21年茨城県人口動態統計)		原因	10万人対	原因	10万人対	原因	10万人対
	1位	がん	273.5	がん	276.5	がん	284.5
	2位	心疾患	143.7	心疾患	150.5	心疾患	173.7
	3位	脳血管疾患	97.2	脳血管疾患	118.4	脳血管疾患	110.9

※ 平均寿命：ゼロ歳の人が平均してあと何年生きられるかということを示した指標。

②人工透析患者の推移

新規人工透析患者の原因疾患内訳をみると、平成6年から糖尿病性腎症が増加し、最近では新規患者の約40%以上を占めています。



(市社会福祉課 身体障がい者台帳：各年4月1日)

Ⅲ 高齢者の現状及び今後の見込み

③生活習慣病の状況

国民健康保険の受診者のうち57.2%の人が生活習慣病で受診しています。疾患の割合は、高血圧症、脂質異常症^{※1}、糖尿病、虚血性心疾患の順に高くなっています。

(単位：人)

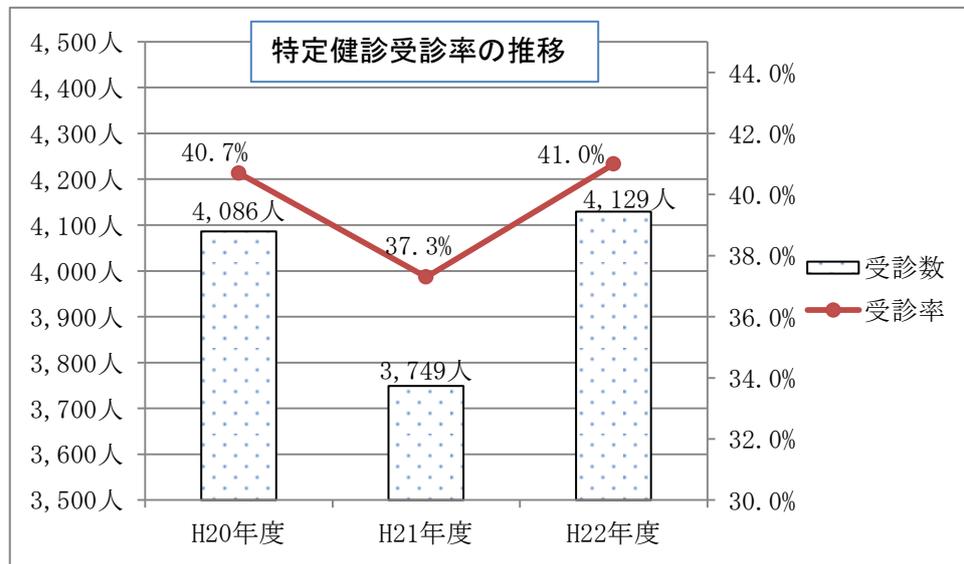
	国民健康保険被保険者数	H19年2月分の受診者数(実人数)	生活習慣病の受診者数(実人数)	生活習慣病の内訳(延べ人数)					
				高血圧症	脂質異常症	糖尿病	虚血性心疾患	脳血管疾患	高尿酸
男	8,305	3,456	2,028	1,495	777	762	621	351	331
女	8,295	4,120	2,304	1,617	1,229	666	509	325	80
計	16,600	7,576	4,332	3,112	2,006	1,428	1,130	676	411

(那珂市国民健康保険外来レセプト^{※2} 平成19年2月診療分)

- ※1 脂質異常症：血液に含まれる脂質(コレステロール、中性脂肪など)が過剰、または不足している状態。
 ※2 レセプト(診療報酬明細書)：医療費の請求明細のことで、医療機関が医療保険者に医療費を請求する際に使用する。

④国民健康保険被保険者の特定健診受診率

平成20年度から始まった特定健診の受診率は、平成21年度に前年度を下回ったため、平成21年度に未受診者の自宅を訪問するなど未受診者対策を積極的に行った結果、平成22年度は受診率が向上し初年度を上回ることができました。



(市保険課)

Ⅲ 高齢者の現状及び今後の見込み

平成22年度の特定健診の結果から生活習慣病に関連する検査項目の異常者割合をみると、男性はヘモグロビンA1c、血圧、腹囲、女性はヘモグロビンA1c、LDL コレステロール、血圧の順になっています。

生活習慣病に関する検査項目の異常出現割合順位

		1位	2位	3位	4位	5位
男性	H20	血圧	腹囲	LDL	HbA1c	中性脂肪
		49.9%	48.7%	45.7%	45.0%	32.3%
	H21	腹囲	血圧	LDL	HbA1c	中性脂肪
		45.9%	45.6%	39.8%	38.8%	31.4%
	H22	HbA1c	血圧	腹囲	LDL	BMI
		59.3%	54.6%	48.0%	40.1%	28.0%
女性	H20	LDL	HbA1c	血圧	BMI	中性脂肪
		58.9%	45.5%	42.2%	24.6%	22.8%
	H21	LDL	HbA1c	血圧	BMI	中性脂肪
		53.4%	39.7%	37.8%	22.3%	20.7%
	H22	HbA1c	LDL	血圧	BMI	中性脂肪
		63.3%	55.1%	43.8%	20.2%	17.1%

(市保険課)

⑤がん検診の受診者数

男性のがん検診の受診者数は、平成21年度に減少しましたが、平成22年度は、各がん検診の受診者数が総じて増えたことで、全体的に増加しました。

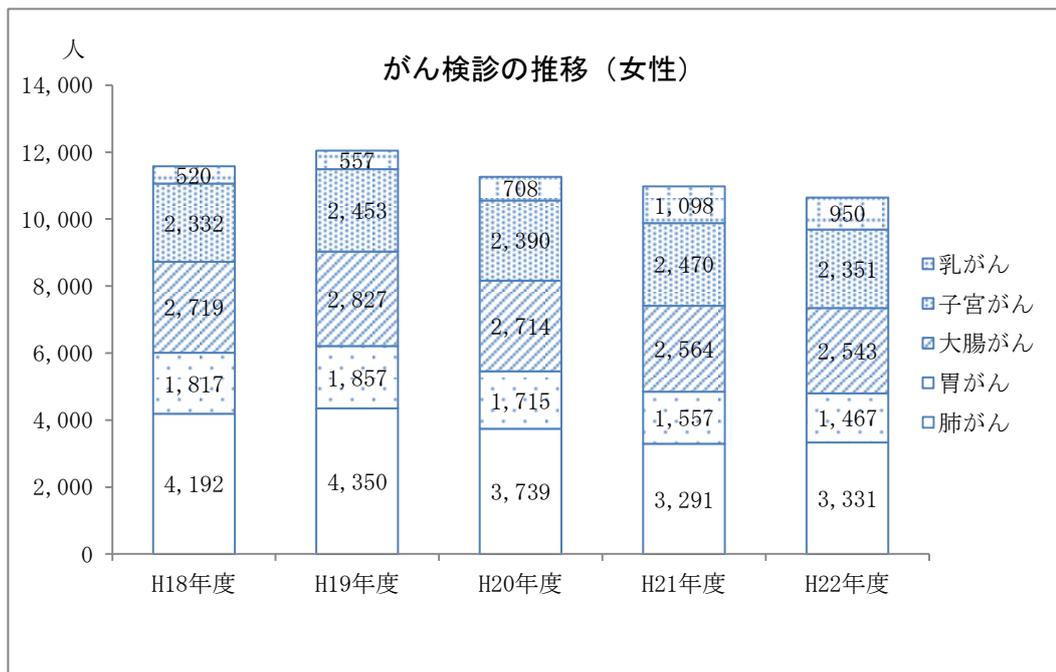
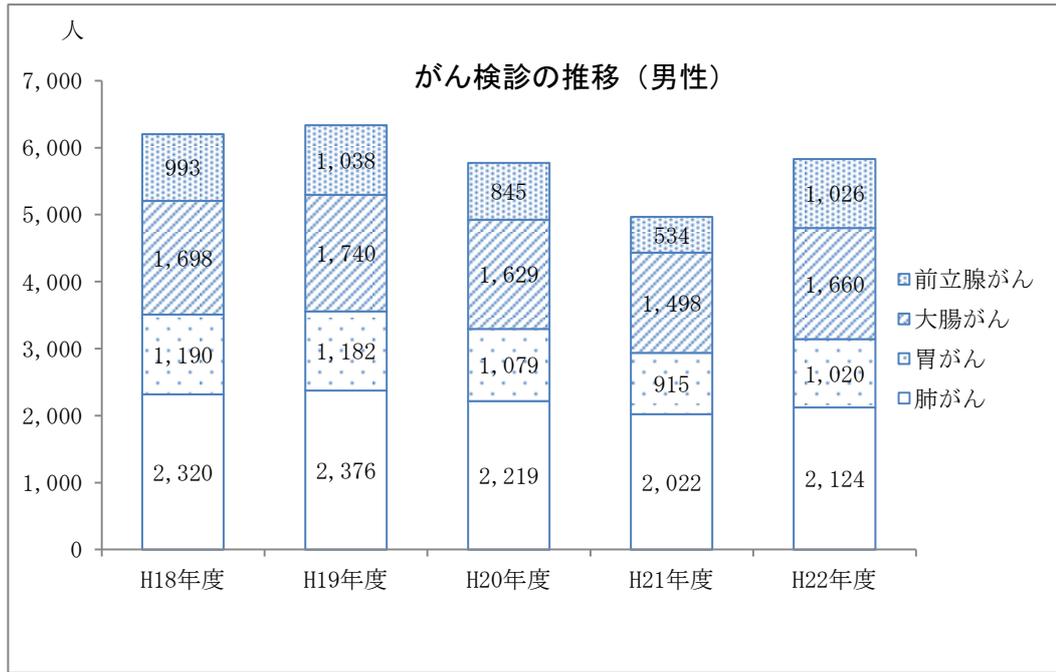
一方、女性のがん検診の受診者数は、減少しています。

(単位：人)

	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度
男性	6,201	6,336	5,772	4,969	5,830
女性	11,580	12,044	11,266	10,980	10,642

(市保険課)

Ⅲ 高齢者の現状及び今後の見込み

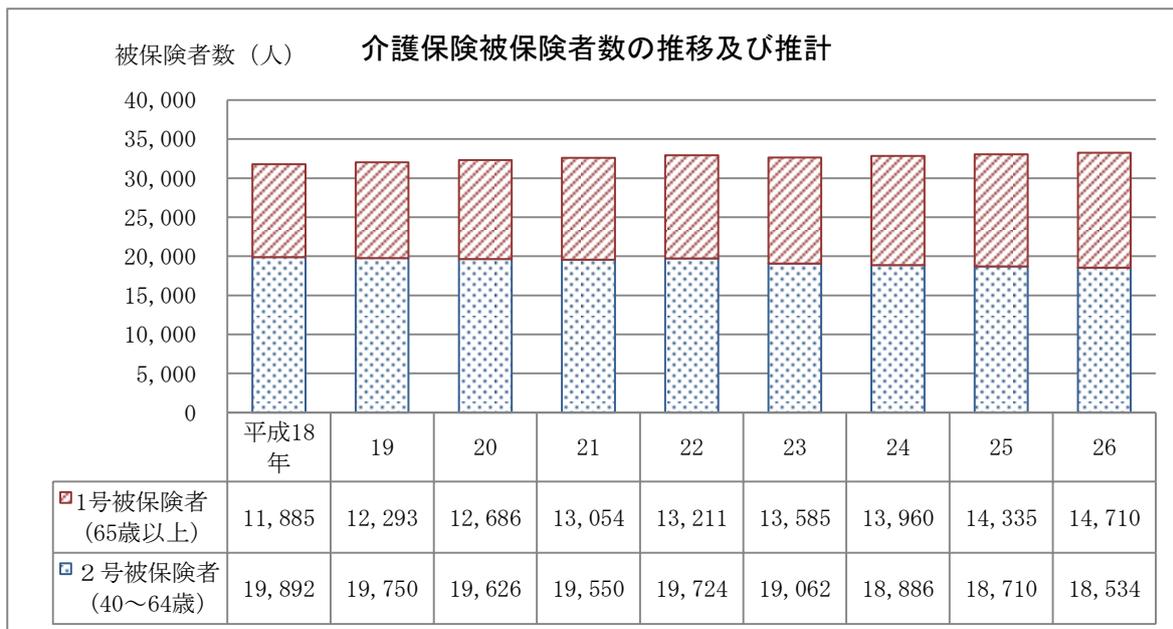


Ⅲ 高齢者の現状及び今後の見込み

Ⅲ-4 介護保険被保険者等の状況

①介護保険被保険者数の推移及び推計

総人口は減少傾向にある中、介護保険被保険者の総数（第1号と第2号の合計）では増加傾向と予測します。介護保険被保険者については、平成22年と平成26年とを比較すると、第1号被保険者数が11.3%増加しますが、第2号被保険者数は6.0%減少すると見込みます。

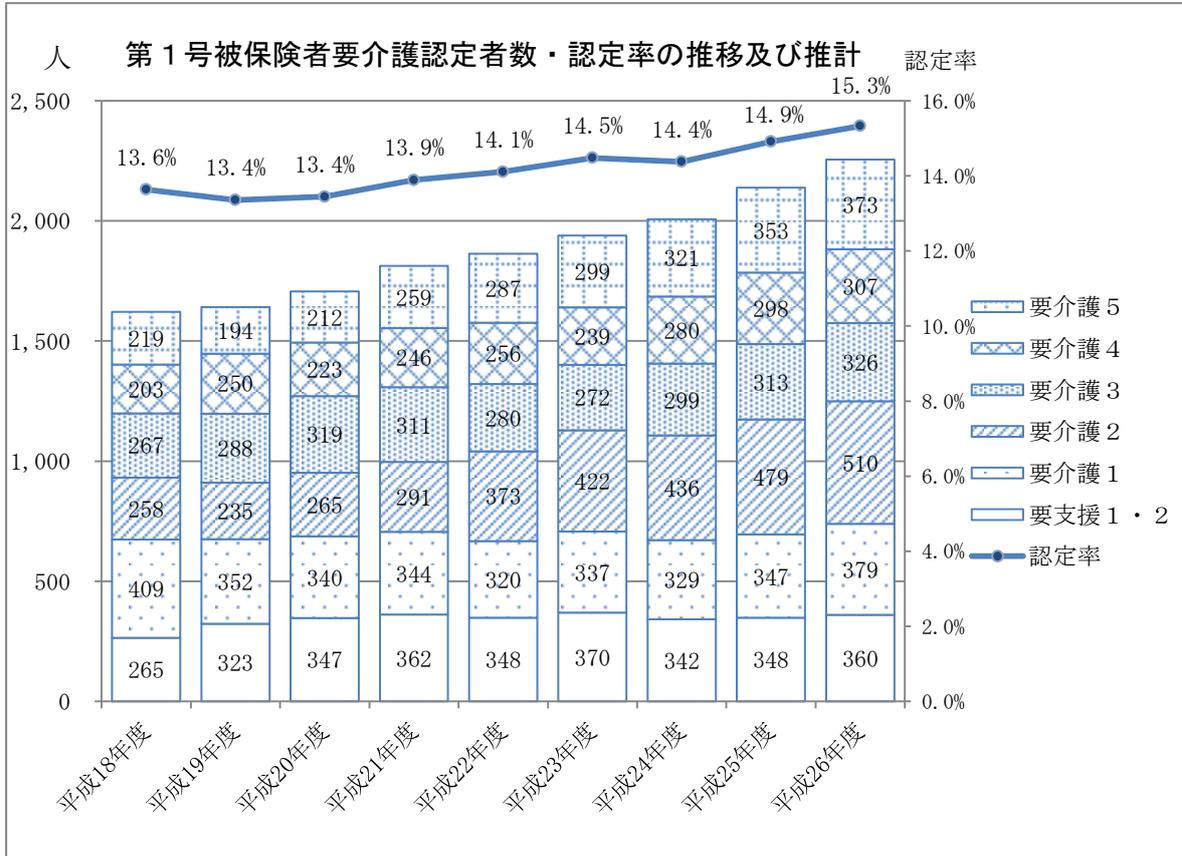


〔平成18～22年＝介護保険年報（各年度末）
平成23～26年＝第5期介護保険ワークシート H23.10.1〕

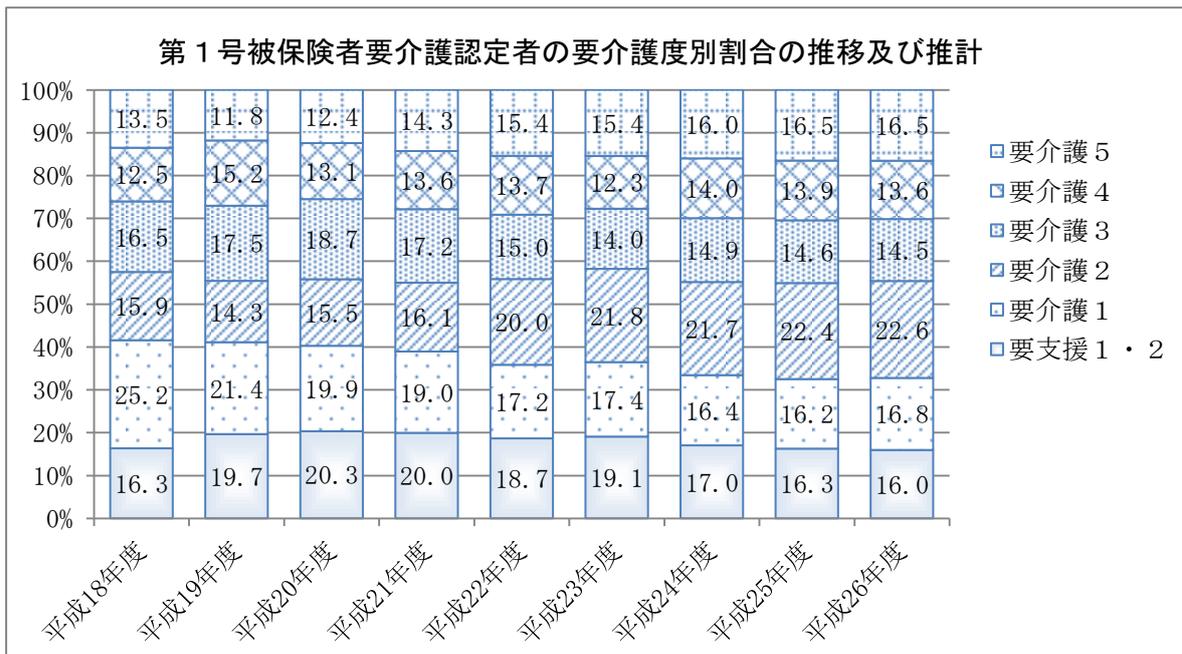
Ⅲ 高齢者の現状及び今後の見込み

②第1号被保険者要介護認定者数の推移及び推計

要介護認定者数は、平成18年度1,621人、平成22年度1,864人となり、15%増加しています。平成23年度以降も毎年増加し、平成26年度には平成22年度と比較して21%増の2,255人になると予測します。



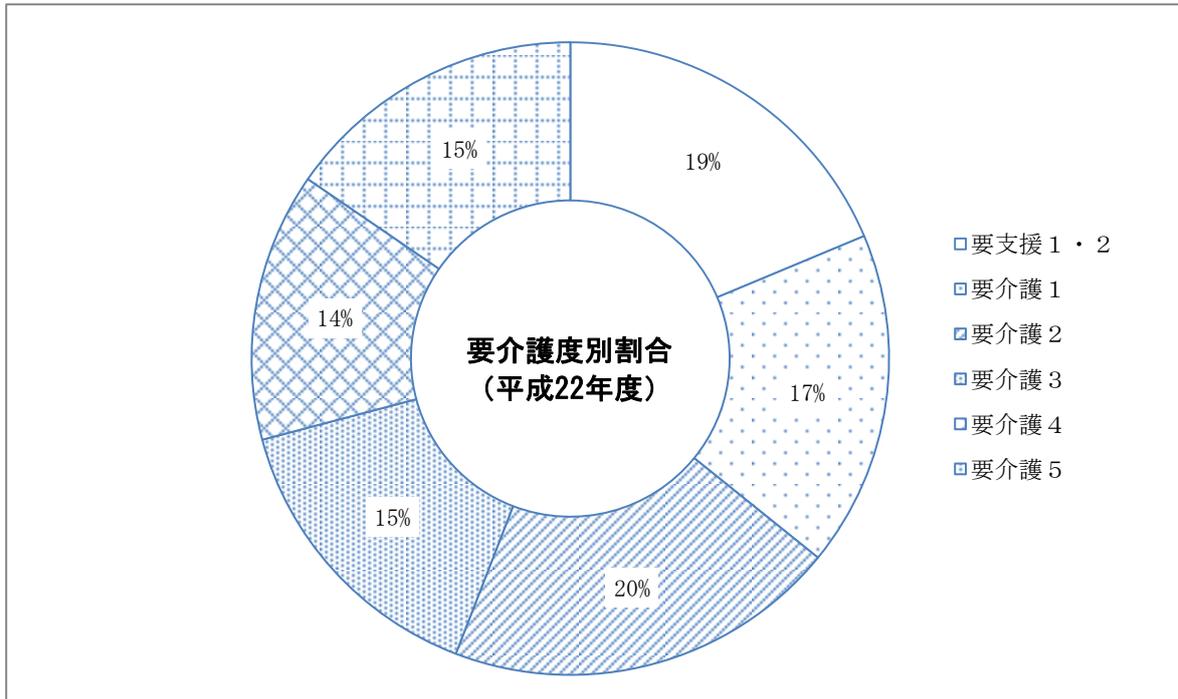
〔平成18～22年＝介護保険年報（各年度末）
平成23～26年＝第5期介護保険ワークシートH23.10.1〕



〔平成18～22年＝介護保険年報（各年度末）
平成23～26年＝第5期介護保険ワークシートH23.10.1〕

Ⅲ 高齢者の現状及び今後の見込み

要介護度別の割合については、それぞれ、おおむね20%以下で分布し、要介護度別に大きな差異はありません。



(介護保険年報：平成22年度末)